

# 校内研修計画

甲州市立塩山中学校

## 1 学校課題（研究主題を含む）

## 2 研究主題

「心豊かに、生きる力をはぐくむ教育の研究」

～QUを活用した集団づくりと個の育成を目指して～

## 3 主題設定の理由

国の政策、県の政策を受け、地域に根差した教育を進めていくための甲州市の取り組み（平成23年10月に「甲州市『確かな学力』育成プロジェクト委員会」が発足）も9年目となる。4月の説明会において、今年度は第5次プロジェクトの1年目の位置づけとなることが確認された。

市のプロジェクトの視点から本校の現状を見てみると、プロジェクトの基盤となる「集団づくり」という点では、あいさつや生徒相互の支えあい（けが人などへの支援や当番活動の手伝い）などにおいて、さわやかな学校生活を送っている様子が見える。またQUにおいても満足度群の割合が全国平均を上回っていることから、落ち着いた学校であると客観的に見ることが出来る。

しかし、不登校生徒の様子を見てみると、長期欠席者が一昨年は8%、昨年は6%となり、ここ数年増加傾向にある。また学力面においても、二極化の傾向が表れはじめている。

以上のことを踏まえ、今年度は「集団づくり」というこれまでの方針を受け継ぎつつ、集団を構成する生徒個々の力を少しずつ向上させるための研究を進めていくこととする。

## 4 研究の具体的内容と方法

### （1）QUを活用した集団づくりについて（継続実施することにより生徒を育てる活動として）

#### ①QUアンケートを用いて、生徒の実態を把握する。

※ 4月の市研究主任会にて→各校の実践で効果のあったものを共有することが確認された

#### ②SST（ソーシャルスキルトレーニング）やSGE（構成的グループエンカウンター）を用いた人間関係づくりを進める。

→検証の一つとしてQUの満足度群の割合や長期欠席者数の割合の変化を考察する

### （2）「SUN（ステップアップノート）」「SUT（ステップアップテスト）」への取り組み（学力向上に関わる取り組みとして）

#### ①授業の構造化を主とし、板書計画や指導案作り、またQU結果を取り入れた授業の検討・実践を積み重ねていく。

#### ②一人一実践（ステップアップ授業）で検証するとともに、実践記録を残す。

#### ③SUNの活用を検討する

a 授業の中で家庭学習とつながる動きかけの方法 と、

b スタンバイの時間におけるふりかえり（課題設定）を大切に見ていきたい。

#### ④「『3観点による評価』についての学習会」（講師を招いた学習会）を実施する

### （3）ESDに関する実践的な取り組み（指導力の向上を目指して）

#### ①ESDに関する研究授業の実施

→教科部会で取り組み内容を検討する時間を持つ

年間校内研修計画

研究主任 田辺 秀樹

月	日	分類	内 容	備考
4	3	校内①	継続研究の確認	
	13	市プロ	市プロジェクトの説明	
	16	校内②	研究主題および研究内容の確認	
5	8	教協	東山教協春季教研 → 中止	
	13	校内③	学年 「SUN SUT の取り組みについて」「ESD の取り組みについて」	
	20	教協	ブロック交流研① → 中止	
6	3	市	QU 実施	
	12	初任研	初任研 授業公開 「学びの集会（56校時）」 三枝先生	
	17	市	教育講演会 藤川先生	
7	3	市	教育講演会 鹿島先生	
	8	校内④	全体 → 学年 市指定「K13 法での QU 分析	
	10	初任研	初任研 授業公開 酒井先生	
8	7	教協	教育講演会 ブロック交流研②	
	21	校内⑤	学年 市指定「K13 法での QU 分析をもとに 2 学期に向けて」	
	31	教協	統一授業研①	
9	16	校内 教協	共同絵画（5校時） 東山教協秋季教研	
	23	校内⑥	研究授業① 「心の健康に関する授業」（前嶋先生、○学年との TT）	QU 分析後 実施学年決定
10	9	初任研・市	初任研授業公開 数学 前田先生 ・QU 実施	
	14	市	授業研究会 盛山先生	
11	4	教協	ブロック交流研③	
	6	初任研	初任研授業公開 保健体育 武藤先生	
	18	校内⑦	学年 市指定「K13 法での QU 分析をもとにした今後の取り組み」	
	25	校内⑧	「『3 観点による評価』についての学習会」	TC 要請
12	2	校内⑨	研究授業② 「【道徳】 ESD に関して（萩原 T）」	初任者授業研 TC 要請
	4	市	教育講演会 河村先生	
1	20	市	教育講演会 山縣先生	
	27	校内⑩	全体 「今年度の研究の反省」	
2	3	教協	統一授業研②	
	10	教協	東山教協冬季教研	
	24	校内⑪	全体 「校内研のまとめと来年度の方向性について」	